

民衆の声
ボイス

No.103

公明党 横浜市会ニュース

Voiceよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

公明党市議団の要望が実現へ！

「横浜市中期計画2022～2025」を策定

「子育てしたいまち・次世代を共に育むまちヨコハマ」を基本戦略とした4年間の計画である「横浜市中期計画2022～2025」が基本計画特別委員会で審査され、可決成立しました。公明党横浜市議団が要望してきた数々の政策が、大きく市の中期計画に反映されました。

小児医療費を完全無償化 中3まで所得制限撤廃

《小児医療費助成の拡充へ
公明党市議団の歩み》

- 1992年 横浜市区で初めて無料化を提唱
- 1995年 0歳児の通院・入院が無料化
- 2007年 就学前児童まで対象を拡大
- 2012～17年 小1→小6まで対象を拡大
- 2019年 中3まで対象を拡大
- 2021年 1、2歳児の所得制限を撤廃

令和5年度予算案に反映



本年8月から中学3年生までを対象に所得制限および一部負担金を撤廃し、完全無償化となります。

全ての生徒へ栄養バランスの整った給食を提供

中学校給食の更なる拡充へ



令和5年度予算案に反映

“ふた”をあけるワクワクの毎日。

- 全員給食に向けて、設計50校、工事25校について配膳室の整備を行う。
- 喫食率アップの取り組みを強化する。



令和4年 第4回定例会における論戦より

議案関連質疑

光熱水費・食料費に対する支援を

子ども食堂を含む地域における子どもの居場所の光熱水費・食料費の高騰に対する支援は、資金面において有効な対応であり重要です。この支援金を広く知っていただき、活用していただけるよう、周知・広報をしっかりと取り組んでいくべきであると市長に質問しました。

市長は、「より多くの団体に申請いただくためには、丁寧に周知を進めていくことが重要であり、市ホームページや広報よこはまなどに掲載するとともに、地域の状況を把握している社会福祉協議会や区役所等を通じて、積極的な周知に努めていく」と答弁しました。



出産・子育て応援交付金事業

政府の「総合経済対策」において、妊娠から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と併せ、現状、支援が手薄と考えられる出産前後と0～2歳児に対する経済的支援を「出産・子育て応援交付金事業」として行うことが決定しました。公明党が発表した「子育て応援

横浜市副議長
高橋 正治

「子育て応援交付金事業」を前倒し実施するものです。そこで、市長の受け止めを質問しました。市長は「経済的理由により子を持つことを躊躇する方が少なくないなかで経済的負担を軽減することは重要」と答弁しました。



一般質問

市立高校での通級指導が実現へ

令和3年の一般質問で、特別な支援が必要な高校生に対して、中学校からの支援の継続の課題や高校進学後の学習面・生活面の課題、その先の就職支援の重要性について質問し、取り組みの拡充を要望しました。

教育長は「令和5年度から、市立横浜総合高校に在籍する生徒を対象に通級指導を開始し、6年度からは全市立高校に拡大し、巡回型の通級指導、特別支援学校の他校通級を開始する予定」と答弁しました。

基本計画特別委員会

発達障がい児への支援

最近はお子さんに障がいがある、もしくは障がいがあるかもしれないがどうしたらよいのか、と不安や悩みを抱えている声を聞く機会が増えており、地域療育センターで実施する保護者支援の今後の方向性について質問しました。

市長は「保護者の不安や悩みを解消するため、親子での遊びを通じて、専門職がお子さんの特性を踏まえ、関わり方のアドバイスをを行う「ひろば事業」を充実させるなど、保護者支援の一層の拡充を図っていく」と答弁しました。

地域「コミュニティ」の活性化

人がつながり、地域を活性化させるため、自治会町内会負担を軽減していく取り組みについて質問しました。市長は「自治会町内会の若い世帯や単身世帯の方が加入しない理由の一つに、「会長とか役員をさせられる」と負担が増える」ということを懸念されていると聞いている。市内2849の単位町内会の会長にアンケート調査を行ない、実態を把握した上で早急に対策を検討する」と答弁しました。

新型コロナウイルス
感染症の情報はこちら

オミクロン株の感染流行における保健所の取組(重点観察対象者、自主療養)など

風邪のような症状があり受診したい時 → かかりつけ医にご相談ください

●かかりつけ医がいない場合は...

- ①「発熱時の診療・検査が可能な医療機関」で医療機関を検索
- ②横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンターへ電話

TEL.045-550-5530 FAX.045-846-0500

※感染者急増により、電話が繋がりにくい状況となっています。

市民相談 横浜市議員、防災士 高橋まさはる

〒226-0019 横浜市緑区中山1-20-5
電話: 929-5305 FAX: 931-8798
http://www.masaharu.info/
LINE公式アカウント▶



急な病気やケガで受診の相談を迷ったら
☎ #7119 まで!
または ☎ 045-232-7119
《年中無休24時間対応》

公明党の主張が令和5年度予算案に大きく反映しました！

1.子育てに安心を

出産子育て応援金

●出産・子育て応援金

妊娠・出産時にそれぞれ**5万円**(合計10万円)支給
※令和5年2月1日、実施開始！

- 子育て世代包括支援センターの機能強化
- 医療的ケア児等の受け入れ環境整備
- 伴走型相談支援の充実
- 放課後の居場所づくりの充実・子育て住まいサポート
- 一時保育、病児・病後児保育の充実
- ひとり親家庭等自立支援(子ども食堂、フードバンク)

出産育児一時金

●出産育児一時金 段階的な増額を実現



2.暮らしの安心へ

認知症支援事業

認知症疾患医療センターの充実、若年性認知症支援、スローショッピングの普及・啓発



- 带状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた調査
- お悔やみ窓口の設置検討
- 各種がん検診の受診率向上に向けた取組
- ヤングケアラー支援の充実
- 新たな介護人材の確保、定着支援
- ひきこもりなど困難を抱える若者支援(SNS相談窓口)

地域防犯カメラの設置を大幅増加

100台から
150台に



3.災害への備えを

学校体育館への エアコン設置を加速

令和元年～4年度まで
エアコン・大型冷風機を89校に設置

令和5年度は
エアコン28校、大型
冷風機は希望校へ！

- 避難行動計画「マイ・タイムライン」の周知・作成支援
- 木造住宅・マンションの耐震化支援
- 雨水幹線の整備、がけ地の安全対策

防災アプリ の本格運用



4.地域交通の充実へ

地域の総合的な移動サービスを検討



※コミュニティバス 四季めぐり号

敬老特別乗車証(敬老パス)の維持



- バス路線の維持
- 新たな移動サービスの検討
- 地域交通サポート

5.教育環境の充実へ

教育の グローバル 充実



学校の エレベーター 設置



- 不登校児童生徒への支援拡充
- 計画的な学校建替え

政務活動最前線

AI活用による交通調査

1月31日、市議団は、AI解析による交通調査を視察しました。

この調査は、交差点の混雑状況を動画で撮影後、AIによる映像解析を行うことで、課題を可視化(数値化)し交差点の安全確保の取組に繋がります。



戸塚駅西口駅前の調査現場を視察する市議団(福島・久保・中島議員)

ウクライナ避難民のサッカー選手を支援

2月3日、市議団は、横浜市に避難してきたウクライナ避難民のサッカー選手・ヤリクさんと面会しました。

ヤリクさんは市議団の橋渡しにより、市内で活動するプロサッカーチーム「横浜FC」の下部組織「アカデミー」に在籍することができ、練習に励んでいます。



市議団(福島・仁田・中島議員)と談笑するヤリクさん